



私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します



令和6年10月15日発行  
花畑北中学校 校長浅香英典  
No.6

### 充実した学校生活へ向け

校長 浅香英典

夏休み明けの集会で、生徒に今後心がけてほしいことを2点話しました。「よい姿勢」と「挨拶」です。本校は桜花小学校と連携し、「表現力の育成」と「小中の円滑な接続」をテーマに研修を行っています。「小中の円滑な接続」に向けた研修として、「9年間の学習や生活」について意見交換を重ね、共通実践事項を考えています。その一環として、よりよい「姿勢」と「挨拶」について取り組むことになりました。

姿勢の効果について研究がされており、背筋をまげる姿勢は物事を行ううえで効率が悪いことが報告されています。背筋を伸ばすことで、ポジティブな思考となり、前向きに学習に取り組み、学習成果が上がるそうです。また、自信をもって発言できるようになり、積極性の向上につながるそうです。私達教職員は授業や行事などにおいて、よい姿勢が持続するよう声をかけています。9月30日（金）に行われた立会演説会では、背筋が伸びた姿勢で演説などを聞く姿を見ることができました。

「挨拶」については「自分からできる」を目標に取り組んでいます。教員も自ら挨拶するけど、自分から挨拶するよう心がけてほしいと伝えました。すぐに実践に移してくれたのが3年生でした。修学旅行前日である9月6日（金）に各自の荷物を運送屋のトラックに積み込みました。その際に、全生徒が「お願いします」と言いながら運転手に荷物を渡していました。修学旅行中は宿舎や体験などの関係者への感謝の気持ちを込めた挨拶が印象的でした。上級生が手本を見せてくれたことが学校全体に浸透していきます。1年生は10月3日（木）からの魚沼自然教室で、運転手やコーディネーター、宿舎の方など多くの関係者に元気よく挨拶やお礼をしました。また、自分から挨拶をする生徒が増えました。2年生は、11月の職場体験で挨拶をはじめ社会性が更に向上することを期待しています。

今後も、小学校との連携を図り、桜花小・花畑北中の子供たちにどんな力を身に付けさせたいか、どのように身に付けさせるか。より過ごしやすく、充実した学校生活にするためにはどのように子供たちに働きかけていけばよいかを考え、実践を重ねてまいります。

10月19日（土）に白檉祭舞台発表の部を開催いたします。午前中の開催となりますが、開催時間中は12人の実行委員をはじめ、ほとんど休む間がない生徒がたくさんいます。合唱は、コロナ禍でほとんど歌うことができなかつた時期から約2年間、音楽の授業や昼休みの有志による練習で少しずつに声量やハーモニーを向上させてきました。また、教科や部活動などの発表のために、限られた時間を有効に使って準備をしてきました。当日はぜひご来校いただき、準備や練習を重ねることで培ってきた運営力・表現力・コミュニケーション力・意欲などの集大成となる充実した姿をご覧くださいと幸いです。